

# スイッチャーのリンクを設定する

別売のスイッチャーと、本機をリンクするための設定を行います。  
スイッチャーとのリンク機能を使用するためには、予め下記の設定を行う必要があります。

## ■ 本機とスイッチャーとの接続設定

<基本編>「リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う」(29ページ)を参照してください。

## ■ スwitchャー側での設定

<AW-HS50>  
以下の設定を行ってください。

- 本機とのリンク機能を有効にする  
[13] Operation Menuの「10. CamCont Link」項目を「On」に設定します。
- 本機が送信したリモートカメラ名称を表示する  
[10] Input Menuの「10.1】SDI-IN1 ~ 「10.4】SDI-IN4の「4. Name Type」項目、もしくは「10.5】DVI-INの「2. Name Type」項目を「CAM Name」に設定します。
- マルチビュー映像を出力しているときに、本機で選択中のリモートカメラ映像の子画面の左下にアイコンを表示する  
[8] MultiView Out/Frame Menuの「6. Input Status」項目を「On」に設定します。

詳細は、AW-HS50の取扱説明書を参照してください。

<AV-HS6000>

AV-HS6000と本機をリンクするには、AV-HS6000にプラグインソフトウェアの登録が必要になります。

詳細は、AV-HS6000シリーズの取扱ガイドを参照してください。

また、プラグインソフトウェアの使い方は、AV-HS6000 Series Plug-inソフトウェアの操作説明書を参照してください。AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

## ■ スwitchャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録

本章を参照してください。

## ■ スwitchャーとのリンク機能の有効 / 無効設定

本章を参照してください。

## スイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録

この操作は、AW-HS50およびAV-HS6000とリンクするときに必要な操作です。AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

### 1. MENU ボタンを押す

### 2. SW INPUTメニュー [43] を開く

### 3. F1ダイヤルを回して、設定を行うスイッチャーの入力信号を表示する

1. INPUT1  
CAM1↓

入力信号 : 1. INPUT1 ~ 100. INPUT100から選択します。

### 4. F2ダイヤルを回して、対応するカメラ番号を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

## スイッチャーとのリンク機能の有効 / 無効設定

本機とスイッチャーのリンク機能全体の有効 / 無効を設定します。

### 1. MENU ボタンを押す

### 2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

### 3. F1ダイヤルを回して、「1. SWLINK」項目を表示する

1. SWLINK  
On↓

### 4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

On : スwitchャーとのリンク機能が有効

Off : スwitchャーとのリンク機能が無効

### 5. F1ダイヤル回して、「2. SW TYPE」項目を表示する

2. SW TYPE  
HS50↓

### 6. F2ダイヤルを回して、接続するスイッチャー「HS50」 / 「HS6000」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

HS50 : AW-HS50とリンクします。

HS6000 : AV-HS6000とリンクします。

## メモ

- リンク機能の有効 / 無効を、USER ボタンに割り当てることができます。

USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」 ~ 「8. USER8」項目を表示し、「SWLINK」を設定する

- 「SWLINK」を割り当てたUSER ボタンを押すと、以下のように動作します。

点灯 : スwitchャーとのリンク機能が有効

消灯 : スwitchャーとのリンク機能が無効

## NOTE

- 1台のスイッチャーとリンク可能なAW-RP120やAW-RP50は1台までです。  
このため、別のAW-RP120やAW-RP50がすでにリンクしているスイッチャーとは、本機はリンクすることはできません。  
すでにリンクしている機器のリンク機能を無効にしたうえで、本機のリンク機能を有効にしてください。
- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

# スイッチャーとリンクしたときの各機能を設定する

本機とスイッチャーがリンクしているときに使用できる機能を設定します。

各機能については、SW FUNCTIONメニュー [42]、SW INPUTメニュー [43] で事前に設定が必要です。

⇒「スイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録」(31 ページ)

⇒「スイッチャーとのリンク機能の有効/無効設定」(31 ページ)

## BUSCONT 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2. SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。

本機からスイッチャーのバス素材を選択します。

BUSCONT 機能を有効にすると、本機のカメラ選択に連動して、スイッチャーのバス素材を選択することができます。

### NOTE

- AUTO IPメニュー [37]、SWAP IPメニュー [38]、MANUAL IPメニュー [39] でカメラ番号のリンク設定を変更したときや、SW INPUTメニュー [43] でスイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号を変更したときには、BUSCONT 機能を有効にしてもスイッチャーのバス素材は即座に切り替わりません。カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、選択し直してください。
- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

## BUSCONT 機能の有効 / 無効の設定

### 1. MENU ボタンを押す

### 2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

### 3. F1 ダイヤルを回して、「3. BUSCONT」項目を表示する

3. BUSCONT

Off↓

### 4. F2 ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

On : BUSCONT 機能が有効

Off : BUSCONT 機能が無効

### メモ

- BUSCONT 機能の有効 / 無効を、USER ボタンに割り当てることができます。

USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」～「8. USER8」項目を表示し、「BUSCONT」を設定する

- 「BUSCONT」を割り当てた USER ボタンを押すと、以下のように動作します。

点灯 : BUSCONT 機能が有効

消灯 : BUSCONT 機能が無効

## BUSCONT 機能で制御するスイッチャーバスの設定

BUSCONT 機能が有効のとき、本機のカメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] で制御するスイッチャーバスを設定します。

### 1. MENU ボタンを押す

### 2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

### 3. F1 ダイヤルを回して、「4. BUS」項目を表示する

4. BUS

AUX↓

### 4. F2 ダイヤルを回して設定値を選択し、F2 ダイヤルを押して設定する

< 「HS50」の場合 >

AUX : スwitchャーのAUXバスが制御対象

PVW : スwitchャーのPVWバスが制御対象

PinP : スwitchャーのPinPバスが制御対象

KEY : スwitchャーのKEYバスが制御対象

< 「HS6000」の場合 >

AUX1-16 : スwitchャーのAUXバスが制御対象

ME1PVW : スwitchャーのME1のPVWが制御対象

ME1KEY1-S/F、ME1KEY2-S/F、ME1KEY3-S/F、ME1KEY4-S/F  
: スwitchャーのME1のKEY1～4F/Sが制御対象

ME2PVW : スwitchャーのME2のPVWが制御対象

ME2KEY1-S/F、ME2KEY2-S/F、ME2KEY3-S/F、ME2KEY4-S/F  
: スwitchャーのME2のKEY1～4F/Sが制御対象

DSK1-S/F、DSK2-S/F、DSK3-S/F、DSK4-S/F

: スwitchャーのDSK1～4F/Sが制御対象

- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

## FOCUS ASSIST 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。  
 スイッチャーのAUXバスを制御し、「マルチビュー映像」と「選択中のリモートカメラ映像」の切り替えを行います。  
 この機能をUSERボタンに割り当てると、1つのボタン操作で、選択中のリモートカメラの映像を画面一杯に表示することができ、フォーカス調整などに最適です。

- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

### FOCUS ASSIST 機能の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「5. FOCUS ASSIST」項目を表示する

5. FOCUS ASSIST  
Off↓

4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する  
 On : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、本機で選択中のリモートカメラの映像に切り替わります。  
 Off : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、マルチビュー映像に切り替わります。

### メモ

- FOCUS ASSIST 機能をUSERボタンに割り当てることができます。  
 USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」 ~ 「8. USER8」項目を表示し、「FASSIST」を設定する
- 「FASSIST」を割り当てたUSERボタンを押すと、以下のように動作します。  
 点灯 : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、本機で選択中のリモートカメラの映像に切り替わります。  
 消灯 : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、マルチビュー映像に切り替わります。
- SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS6000」のときは、MV (HS6000のMV4固定) をAUX1 ~ 16のどこに出力するかの設定として、SW FUNCTIONメニュー [42]のMVへのBUSの割り当てを行ってください。  
 6. MV OUTBUS : AUX1 ~ 16

## CAMERA SELECT 表示機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。  
 スイッチャーがマルチビュー映像を出力時に、本機が選択中のリモートカメラ映像の子画面の左下にアイコンを表示します。

- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

### CAMERA SELECT 機能の有効 / 無効の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「7. CAMERA SELECT」項目を表示する

7. CAMERA SELECT  
Off↓

4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : CAMERA SELECT 表示機能が有効  
 Off : CAMERA SELECT 表示機能が無効

### メモ

- SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS6000」のときは、「CAMERA TITLE 名+ (@)」という名称がAV-HS6000の<CONF>ボタン→「SOURCE NAME」→「MV NAME」に反映され、表示されます。

## TALLY IP 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。  
TALLY IPを有効にすると、スイッチャーからネットワーク経由でOAタリー情報を受信することができます。  
受信したOAタリー情報に基づき、本機のカメラステータス表示ランプや、リモートカメラのタリーランプの点灯状態が変わります。

- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

### TALLY IP機能の有効/無効の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「8. TALLY\_IP」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する  
On : TALLY IP機能が有効  
Off : TALLY IP機能が無効

- スwitchャーから受信したタリー情報に基づいて、リモートカメラに対してタリーランプの点灯指示を送信するためには、CAMERA SETUPメニュー [24]の「4. TALLY OUT」項目を表示し、「On」に設定する必要があります。

#### NOTE

- 本機が選択していないカメラグループに属するカメラ番号に対してタリー情報を受信した場合も、該当するリモートカメラに対してタリーランプの点灯指示を送信します。

## PAN/TILTレバーとZOOMボタンでスイッチャーを操作する

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」のときに有効な機能です。  
本機のPAN/TILTレバー、ZOOMボタンを操作して、スイッチャーの設定値 (PinPの位置やサイズなど) を変更することができます。

### PAN/TILTレバー、ZOOMボタンの用途の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「9. P/T/Z CONTROL」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して設定値を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

#### CAM :

PAN/TILTレバーとZOOMボタンにより、本機が選択中のリモートカメラの操作をします。

#### SW :

PAN/TILTレバーとZOOMボタンにより、スイッチャーの設定値を変更します。

#### Button Select :

PAN/TILTレバーとZOOMボタンの操作対象の選択 (リモートカメラ/スイッチャー) を、PAN/TILT ENABLEボタンやFOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンを押すことで行います。

上記各設定値において、PAN/TILT ENABLEボタン、FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンを押したとき、ボタンの点灯状態は、以下のように変化します。

#### <各ENABLEボタンを押したときの点灯状態の変化>

設定値	点灯状態
CAM	点灯 → 消灯 ↑
SW	点滅 → 消灯 ↑
Button Select	点灯 → 点滅 → 消灯 ↑

各ENABLEボタンの点灯状態における動作は以下のようになります。

#### <PAN/TILT ENABLEボタン>

ボタンの状態	PAN/TILTレバーを操作したときの動作
点灯	リモートカメラが、水平/上下方向に動きます。
点滅	スイッチャーの状態により以下のような動作になります。 ● Wipe Menuを開いているとき トランジションの開始位置 (X、Y) が左右/上下に動きます。 ● PinP Menuを開いているとき PinPの位置 (X、Y) が左右/上下に動きます。 ● 映像出力にクロマキーマーカーが重畳されているとき クロマキーマーカーの位置 (X、Y) が左右/上下に動きます。
消灯	操作が無効になります。

#### <FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタン>

ボタンの状態	ZOOMボタンを操作したときの動作
点灯	リモートカメラのレンズのズームが変化します。
点滅	スイッチャーの状態により以下のような動作になります。 ● PinP Menuを開いているとき PinPのサイズが変化します。 ● 映像出力にクロマキーマーカーが重畳されているとき クロマキーマーカーのサイズが変化します。
消灯	操作が無効になります。

## CAM INF 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2. SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。  
本機が取得したリモートカメラの設定情報を、スイッチャーのAUXバス出力映像またはマルチビュー映像に表示することができます。

- 選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラの設定情報が表示されます。
- シリアル接続されたリモートカメラの設定情報は、カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/GROUP SELECT] で選択されているときだけ表示されます。
- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」の Ver. 3.00以上をお使いください。

## CAM INF 機能の有効/無効の設定

### 1. MENU ボタンを押す

### 2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

### 3. F1 ダイヤルを回して、「10. CAM INF」項目を表示する

10. CAM INF  
Off ↓

### 4. F2 ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : CAM INF 表示機能が有効  
Off : CAM INF 表示機能が無効

## メモ

- CAM INF 機能の有効/無効を、USER ボタンに割り当てることができます。  
USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」～「8. USER8」項目を表示して、「CAMINF」を設定する
- 「CAMINF」を割り当てたUSER ボタンを押すと、以下のように動作します。  
点灯 : CAMINF 機能が有効  
消灯 : CAMINF 機能が無効

## スイッチャーの映像出力に重畳するリモートカメラ設定情報の選択

### 1. MENU ボタンを押す

### 2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

### 3. F1 ダイヤルを回して、「11. CAMINF\_FORMAT」～「18. CAMINF\_ALARM」から項目を表示する

11. CAMINF\_FORMAT  
On ↓

}

18. CAMINF\_ALARM  
On ↓

#### 11. CAMINF\_FORMAT : ① 映像フォーマット

(リモートカメラの映像フォーマットが認識できない場合は、ブランクになります)

#### 12. CAMINF\_CNAME : ② リモートカメラの名称

(SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2. SW TYPE」の設定が「HS6000」のときは、「CAMERA TITLE 名+ (@)」という名称が表示されます。)

#### 13. CAMINF\_SCENE : ③ 撮影モード

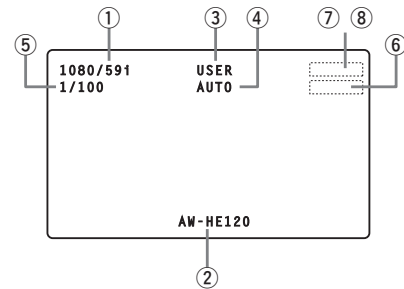
#### 14. CAMINF\_GAIN : ④ GAINの値

#### 15. CAMINF\_SHUTTER : ⑤ シャッターの情報 (ON/OFF、SHUTTER値)

#### 16. CAMINF\_IRIS : ⑥ IRISの値

#### 17. CAMINF\_FILTER : ⑦ フィルターの情報

#### 18. CAMINF\_ALARM : ⑧ リモートカメラのアラーム情報



### 4. F2 ダイヤルを回してそれぞれの項目の「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : スイッチャーでの表示を有効  
Off : スイッチャーでの表示を無効

- リモートカメラによっては、CAMINF\_IRIS、CAMINF\_FILTERが表示されないものがあります。(下記参照)

	CAMINF_IRIS	CAMINF_FILTER
AW-HE120	—	○
AW-HE60、AW-HE50	—	—
AW-HE100	○	—
AW-HE870	○	—
AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350	—	—
AK-HC1500、AK-HC1800	○	○

○ : 表示されます — : 表示されません

設定項目一覧(メニュー) (つづき)

ボタン番号	メニュー名称	設定項目	リモートカメラ	本機の初期値 <sup>(*1)</sup>	設定値
[36]	CTRL TYPE	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		NoAssign ⋮ NoAssign	Serial, Network, NoAssign
[37]	AUTO IP	1. AUTO SET		RENEW IP ADR	RENEW IP ADR, KEEP IP ADR, ALL CLEAR
[38]	SWAP IP	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		----- ⋮ -----	
[39]	MANUAL IP	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		192.168.0.10 ⋮ 192.168.0.109	
[40]	PORT NO	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		80 ⋮ 80	1 ~ 65535 ⋮ 1 ~ 65535
[41]	SW SETUP	1. SW CTL 2. SW IP ADDRESS		NoAssign 192.168.000.008	Network, NoAssign
[42]	SW FUNCTION	1. SWLINK 2. SW TYPE 3. BUSCONT 4. BUS  5. FOCUS ASSIST 6. MV OUTBUS 7. CAMERA SELECT 8. TALLY_IP 9. P/T/Z CONTROL 10. CAM INF 11. CAMINF_FORMAT 12. CAMINF_CNAME 13. CAMINF_SCENE 14. CAMINF_GAIN 15. CAMINF_SHUTER 16. CAMINF_IRIS 17. CAMINF_FILTER 18. CAMINF_ALARM		On HS50 Off AUX  Off AUX1 Off Off CAM On On On On On On On On On On	Off, On HS50, HS6000 Off, On  <b>2. SW TYPE が HS50 のとき:</b> AUX、PVW、PinP、KEY <b>2. SW TYPE が HS6000 のとき:</b> AUX1-16、ME1PVW、ME1KEY1-S/F、ME1KEY2-S/F、ME1KEY3-S/F、ME1KEY4-S/F、ME2PVW、ME2KEY1-S/F、ME2KEY2-S/F、ME2KEY3-S/F、ME2KEY4-S/F、DSK1-S/F、DSK2-S/F、DSK3-S/F、DSK4-S/F  Off, On AUX1 ~ 16 Off, On Off, On CAM, SW, Button Select Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On
[43]	SW INPUT	1. INPUT1 2. INPUT2 3. INPUT3 4. INPUT4 5. INPUT5 6. INPUT6 ⋮ 100. INPUT100		CAM1 CAM2 CAM3 CAM4 CAM5 NoAssign ⋮ NoAssign	NoAssign, CAM1 ~ CAM100
[44]	TALLY	1. TALLY IN1 ⋮ 10. TALLY IN10		CAM1 ⋮ CAM10	CAM1 ~ CAM100
[45]	GPI OUT	1. CAM OUT1 ⋮ 10. CAM OUT10		CAM1 ⋮ CAM10	CAM1 ~ CAM100
[46]	SD SAVE	SAVE MODE		RPDAT	RPDAT, CAM, RPMEM, LOG <sup>(*2)</sup>
[47]	SD LOAD	LOAD MODE		RPDAT	RPDAT, CAM, RPMEM, UPG <sup>(*2)</sup>
[48]	SD DELETE	DEL MODE		RPDAT	RPDAT, CAM, RPMEM, LOG, INIT
[49]	SYSTEM	1. INITIALIZE 2. SYSTEM VER 3. PROGRAM VER 4. FPGA VER		ALL    /	ALL, SETUP V*.*.* (表示のみ) V*.*.* (表示のみ) V*.*.* (表示のみ)
[50]	ALARM	1. POWER 2. CAM### ⋮ 11. CAM### <sup>(*3)</sup>		/	ALARM, No ALARM (表示のみ) FAN ALM, P/T ALM, FAN ALM+P/T ALM, No ALARM (表示のみ)

(\*1) 「-」と記載した箇所は、リモートカメラに保存されている設定値です。

斜線を記載した箇所は表示のみで変更することはできません。

(\*2) CTRL TYPE メニュー [36] で Serial、NoAssign が設定されているカメラ番号が選択されているときは、「CAM」、「RPMEM」は表示されません。

(\*3) CAM### には、選択中のカメラグループに含まれるカメラ番号が表示されます。